



かけはし

第 3 号

平成29年7月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

いじめ根絶に向けて

校長 川崎 直人

本格的な夏の到来を思わせる今日この頃です。あと1月あまりで子どもたちが楽しみにしている夏休みです。学校では1学期のまとめの時期に入りました。



さて、子どもたちが仲間やグループから「仲間はずれ」や「無視」などの心理的な攻撃や身体への暴力や金品をたかれるなどの攻撃によるいじめは絶対に許されないことです。過日、本校職員全員があらためて確認したところでもあります。学校では、これまでもまして一人ひとりの子どもの状況を詳細に見守っていきます。保護者の方々におかれましてもお子さんの表情、交友関係などに変化が見られ、お子さんが心理的にも不安定な状況にある場合や気になることがございましたら、すみやかに学校にご連絡ください。

今までのいじめを解決してきた事例を見ますと、これまでとは違った最近の特徴があります。(今年度の上川管内生徒指導協議会での報告より)

一つ目は、子ども自身が交友関係で悩んでいるのに保護者にも言わないことです。学校やご家庭でのお子さんの様子をこれまで以上に注意して見取ることが必要になってきます。

二つ目は、携帯電話、ブログへの書き込みなどインターネットの利用による相手に対する非難、中傷です。学校でも専門家を招いての情報モラル教室を開催してまいります。ご家庭でも携帯電話やインターネットの利用状況などを注意深く見守ってください。

子どもたちが豊かな交友関係をつくることは、これからの人生のために欠かせないことです。子どもたちの言葉による表現力の不足、誤解による交友関係のねじれを自力で解決できないなど、様々な状況の中で、学校でもいじめ根絶に全力で取り組みます。いじめ根絶は、学校と家庭・地域が両輪となり共に取り組むことが重要です。これまでもまして一層の連携・協力をお願い致します。